

特集テーマ：チューニングによる大学教育のグローバル質保証

国立教育政策研究所は、国際チューニング・アカデミーの依頼を受けて、平成27年度より、日本のチューニング情報拠点としての役割を引き受けることになった。

このチューニングとは、大学教育を通して学生に身に付けさせたい知識や能力（アウトカム）に関する合意を学問分野別に形成し、その合意に基づいて各大学で学位プログラムを設計して実践するための方法論である。「学位」と「単位」の制度を共有する「欧州高等教育圏」の確立を目指すボローニャ・プロセスを実質化させるために、欧州の大学によって2000年に手がけられ、欧州委員会補助金に基づいて、2009年までに欧州32か国165大学で実施されてきた。そして、大学教育の質向上アプローチとしての有効性が評価され、ラテン・アメリカ（33か国200大学）、アフリカ（31か国60大学）、ロシア（29大学）を先駆けに、米国、中国、インドを含む各国で試行・導入されてきた（International Tuning Academy, 2014）。

チューニングの方法論は、経済協力開発機構による高等教育における学習成果調査（OECD-AHELO）フィージビリティ・スタディにおける経済学と工学分野のテスト開発でも活用された。国立教育政策研究所は、平成20～24年度に、このOECD-AHELOフィージビリティ・スタディに、OECDよりテスト問題開発の委託を受けたAHELOコンソーシアムの一員として、更に文部科学省よりテストの国内実施の委託を受けたナショナル・センターとして参画し、チューニングに関する調査研究を進めてきた。平成26年度には、OECD-AHELOフィージビリティ・スタディの継続事業として、機械工学分野における「Tuningテスト問題バンク」の構築に着手するとともに、国際シンポジウム「学問分野のチューニングによる学位プログラムの設計 - ユタ州立大学と米国歴史学会の経験から導く政策への示唆」を開催し、社会科学分野（歴史学）におけるチューニングの取組についても調査研究を進めてきた。本特集は、その成果を五つの論文・解説文に整理したものである。

最初の二つの解説文・論文では、日本がチューニングに注目する意義について検討している。一つ目の深堀解説文は、「チューニングとは何か」について、日本の大学教育の文脈に照らして概説したものである。二つ目の川島論文は、近年の日本における高等教育改革を俯瞰（ふかん）し、「日本にとってのチューニングの意義」を論じたものである。

三つ目のマッキナーニ論文は、チューニングの成功例として注目されている「米国における歴史学分野の取組」を紹介するものである。学部学科、大学、州、学会の各レベルにおいて、どのような議論を踏まえて、どのような活動が展開され、どのようなインパクトがあったのかが具体的かつ丁寧に報告されている。英語本文の後には、邦訳も掲載している。

最後の二つの解説文・論文では、「Tuningテスト問題バンク」の取組に注目している。四つ目の岸本解説文では、テスト問題バンクで採用するコンピテンス枠組みが、日本技術者教育認定機構の分野要件や日本学術会議の分野別参照基準等の既存の枠組みと整合的であり、かつ「水準を含む具体的な学習到達度目標を提示する新しい試み」であることが明記されている。五つ目の深堀・岩附論文では、テスト問題バンクのねらいと設計を整理した上で、「平成26年度の活動を通して明らかになった成果と課題」を明らかにしている。

大学教育のマス化とグローバル化が進展する中で、アウトカムに基づく大学教育の質保証はどの大学にとっても喫緊の課題となっている。本特集が、各大学で進められている教育改革にとって有

益な示唆を提供するものとなることを期待している。

(深堀聰子)

参考文献

International Tuning Academy. *Tuning Academy*.

(tuningacademy.org/wp-content/uploads/2015/01/Tuning_Academy_brochure.pdf, 2015年1月10日アクセス)。

国立教育政策研究所平成25年度教育改革国際シンポジウム「Tuning-AHELO コンピテンス枠組みの共有と水準規定によるグローバル質保証」(平成25年12月10日開催)

(http://www.nier.go.jp/06_jigyousymposium/i_sympo25/index.html)。

国立教育政策研究所国際シンポジウム「学問分野のチューニングによる学位プログラムの設計 - ユタ州立大学と米国歴史学会の経験から導く政策への示唆」(平成26年8月28日開催)

(http://www.nier.go.jp/koutou/heps_nier5.html)。